



Tomoa Narasaki

1996年6月22日、栃木県生まれ、10歳の時に競技を始め、高校卒業後にプロ宣言。2016年、W杯初優勝。16年、19年にはW杯で年間総合優勝、19年の世界選手権では、ボルダリングと複合種目の2種目を制覇する。初めて正式種目となった東京2020五輪では4位入賞を果たした。170cm、60kg

「失敗しながら、笑顔で質問に答えていく。トークショーの最後はこの体験会で恒例となっているスペシャルテクニック披露。どうやって登るの？」と思わず目を疑うような難しい課題をダイナミックなムーブでゴールする。その姿を見たキッズクライマーから挑戦したいという声が上がった。最難関の課題に次々と挑戦するが、残念ながら失敗に終わった。

「失敗してしまっただけ、ここでチャレンジしようとするその姿勢が素晴らしいです」トークショーの後はいよいよ体験会へ。クライミング歴によって3チームに分かれ、それぞれの課題に挑戦していく。課題に戸惑っている子どもには、榎崎がアドバイスを送る。

「本当にちよつとしたこと、膝の向きだったり、足の位置を数センチ変えるだけで体が安定したり、届かなかったホールドに手が届くようになるんです。今回は直接目の前で登っている姿を見ることができたので、困っているポイントをしつかりアドバイスできました。失敗しても何度もチャレンジする子ども達の姿に、逆に僕の方がエネルギーをもらいました」

1時間半に及ぶイベントはあっという間に幕を閉じた。

**家族の絆が生まれた
スポーツクライミング体験会。**

アイティホームが体験会を始めた理由のひとつに「お子さんが頑張っている姿をご家族に生で見たい」 という想いがある。実際に参加した家族はこのイベントをどのように楽しんだのだろうか。

前回オンラインで参加した中学2年の小林蒼社さんが「憧れの榎崎選手に直接質問することができて嬉しかった」と笑顔で語れば、お母さんの志穂美さんは「普段家で

は見せないような真剣な表情を見ることができてよかったです。トップ選手のアドバイスを受けるという貴重な体験ができました」と教えてくれた。

「智亜選手が登り方を教えてくれるのを前から楽しみにしていた」と言う小学2年の後藤真奈香さん。クライミングに打ち込む我が子を見るのはお父さんの直樹さんにとっても楽しい時間となっている。「クライミング選手になるという娘の夢に向かってこれからも2人でクライミングを楽しんでいきたいですね」と抱負を語ってくれた。今回初めてクライミングに挑戦したのは小学3年生の嶋田怜さん。「将来の夢は陸上選手になること」と言うが「すごく楽しかったので、クライミングの選手もいいたいと思いました」と顔をほころばせる。祖母の真由美さんも「最近ではコロナ禍で一緒に出かける機会が減っていたのですが、本当にいい思い出になりました」。

アイティホームの担当者は今回の体験会をこう振り返る。

「3年ぶりのリアルイベントとなりましたが、お子さんが真剣に取り組む姿と沢山の笑顔を見ることができて、本当に開催してよかったです。当日参加できなかった方々にもオンラインでイベントの様子を楽しんでもいただけたと思っています。これからも楽しみながらスポーツクライミングを続けてほしいと思います」

子ども達に挑戦する楽しさを伝え、家族の新しい絆を生み出すスポーツクライミング体験会。このイベントを経験したこと、榎崎には一つの夢が生まれた。

「参加した子ども達の中から選手が生まれ、いつの日か大会で競い合えたらいいですね。クライミングに限らず、挑戦する気持ち大切に、子ども達が自分の夢に向かってくれたら嬉しいです」

[3年ぶりにリアル体験イベントを開催!]

榎崎智亜

「挑戦する楽しさを感じてほしい」

8月27日、「家族で楽しむスポーツクライミング」体験会が都内のクライミングジムで開催された。3年ぶりのリアル開催となった今回のイベントには90組、180人の家族が参加。憧れの榎崎智亜選手とキッズクライマーとの触れ合いの様子をレポートする。

福田剛=文 text by Tsuyoshi Fukuda
山元茂樹=写真 photographs by Shigeki Yamamoto


「今回はコロナ禍のためにオンライン開催となりましたが、今日は直接みんなと会うことができ本当に嬉しいです」

8月27日、「Number」とアイティホームのコラボによる「家族で楽しむスポーツクライミング」体験会が、3年ぶりにリアルイベントとして行なわれた。世界トップクライマー榎崎智亜が最初に口にしたのは、リアルイベントとして開催できることへの喜びだった。

2018年にスタートしたこの体験会はスポーツクライミングの人気の高まりと共に回を重ねるごとに規模が大きくなり、4回目となる今回はリアルイベントの模様をYouTubeで同時配信するハイブリッドで実施。抽選で選ばれた小学1年生から中学3年生までの90人のキッズクライマーが参加する一大イベントとなっている。「スポーツクライミングの体験会でこれだけの人数が集まるイベントにはないの、毎回すごく楽しみにしています。初めてクライミングに触れる子どもにとっては本格的に始める良い機会になりますし、すでに習っているキッズクライマーは他の子の登りを見ることで、いい刺激がもたらされる。スポーツクライミングの普及という意味でも、僕にとって大切なイベントです」

体験会は今シーズン、スポーツクライミングW杯・ボルダリングで総合2位に輝いた榎崎智亜のトークショーからスタート。質問コーナーでは、「届きそうで届かないホールドを取るために距離を出すにはどうしたらいいですか?」「筋肉をつけるために食事が大切だと言われるんですけど、榎崎選手は1日何食摂っていますか?」といったクライミングに関係する質問もあれば、「嫌いな食べ物は何ですか?」といったものまで、憧れの選手を前に子ども達からは様々な質問が飛び。実は野菜が苦手と



イベントの模様はコチラ! 

1 果敢に挑戦するキッズクライマーをサポートする榎崎。身体を支えながらアドバイスを送る。2 栃木県から参加してくれた小林さん親子。「クライミングは一生続けたい」と蒼社さん。3 小学2年生の後藤真奈香さんの夢は、クライミングの選手になること。「これからも娘を応援したい」と、お父さんの直樹さんは言う。4 弟の航亮さんと祖母の真由美さんが見守るなか、初めてクライミングに挑戦した小学3年生の嶋田怜さん(左)。5 憧れの選手からアドバイスをもらうキッズクライマー。6 ゴールした子をゲータッチで祝福。イベント当日のオンライン中継をYouTubeで公開中。右のQRコードからアクセス!

